

いわき市海竜の里センター第2回サウンディング型市場調査【調査結果】

海竜の里センター施設の管理運営への“参画意向”や“管理運営するための条件”等を把握し、当施設の有効な活用方法を検討するため、民間事業者等との対話を通じて、アイデアや意見等を調査する「サウンディング型市場調査」を実施したので、その結果を公表します。

1 サウンディング型市場調査の実施概要

(1) 調査項目

- ① 海竜の里センターへの本市の基本的な捉え方に対する意見
- ② 管理運営の条件（買受・譲渡が基本）
- ③ 利活用のスケジュール
- ④ 施設・設備への投資
- ⑤ その他自由意見・提案

(2) 調査方法 各事業者のアイデア及びノウハウ保護のため個別に実施

(3) 対象者 民間事業者等

(4) 実施経過

実施日	実施内容等
令和7年5月9日（金）	サウンディング実施要領の公表
令和7年5月9日（金）～6月26日（木）	サウンディング調査募集期間
令和7年6月18日（水）	個別対話（参加事業者：2者）
令和7年6月24日（火）	個別現地説明会（参加事業者：1者）

2 参加事業者 ・法人 1者
・個人（2人） 1者

3 調査結果の概要

各事業者のアイデア及びノウハウなどの知的財産保護の観点から、具体的手法の詳細については公表を差し控えています。

① 海竜の里センターへの本市の基本的な捉え方に対する意見	
A者	<ul style="list-style-type: none">・ 当施設の利活用は、地域課題への対応や交流人口の創出、福祉・教育・観光など複合的な分野への波及効果が期待できる。・ 市からの委託事業（子育て支援、地域福祉、高齢者支援、交流促進、防災啓発等）を想定しており、これらを受託することにより、当施設を拠点に活用することは可能（施設は市管理）。
B者	<ul style="list-style-type: none">・ いわき市アンモナイトセンターとも協力し事業を展開することで、久之浜・大久地区の魅力をより効果的に発信でき、地域活性化に繋げることができる。

② 管理運営の条件	
A者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当施設の買受・譲渡による取得や一括管理を行うことは、財政的に困難。 ・ 立地的に営利目的の事業は困難であることから、市からの委託事業を希望。当該公共的事業を行うため、施設の維持管理は市が担うもの。 ・ 買受・譲渡の場合、維持・管理コストに加え、固定資産税を負担するなど、事業を行うことは財政的に困難。 ・ レストハウス（屋根・外壁・設備等）やブラキオサウルス滑り台、レプリカ恐竜、アスレチック遊具等、老朽化が進んでいるものは市で修繕または撤去を希望。 ・ 子育て世代や高齢者の利用が想定されることから、市内各地や主要駅等からの送迎バス等の導入など、市による交通手段の確保を希望。 ・ 当施設裏入口周辺道路の幅員が狭く、来訪者の車両通行に支障をきたす可能性があることから、アクセス道路の拡張・整備について市での対応を検討してほしい。
B者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃貸借の場合、契約期間は最短でも5年間を希望。 ・ 事業運営で十分な資金を得た時点で買い取りを検討。 ・ 自由な改装・改築が可能。
③ 利活用のスケジュール	
A者	・ 早くても令和8年8月以降にオープン（事前準備に一定の期間を要するため）
B者	・ 早くても令和8年10月以降にオープン（事前準備に一定の期間を要するため）
④ 施設・設備への投資	
A者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営初期は資金がなく初期投資は困難。 ・ 当施設を活用した自主事業による収益の一部や、市民や地域関係者からの寄付・協賛の募集、国縣市等の補助金を活用し、小規模な設備投資から段階的に着手。
B者	・ 借入等の資金調達により、駐車場・トイレの増設やアスレチックエリア整備、フタバズキリュウ関連資料の展示や子供広場遊具の刷新などを順次行う。